



# 光れ！ けやきッス

令和4年度 第12号 **卒業生号** 3月16日 発行者 引地 健二



## いよいよ旅立ちです・・・

※ HPではカラーでご覧になれます。

1年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。いよいよ明日の卒業式を残すのみとなりました。

今年度の卒業式も、新型コロナウイルス感染症等の影響で、在校生の参列なし、小学校ならではの呼び掛けも少しだけということで、やや寂しい感じもいたしますが、保護者の皆様と全教職員、少人数ではありますが来賓等、参列者全員で温かく卒業生を送り出したいと考えておりますので、ご協力よろしくお願いたします。



〈職員玄関前のウメの花〉

### 心のこもった「6年生を送る会」～ 5年生が大活躍 ～

2月24日（金）に「6年生を送る会」を実施しました。例年ですと全児童が体育館に集まり、集会形式で行っていますが、今年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの影響でその形では実施できませんでした。しかし、5年生の実行委員が中心となり、テレビ放送を活用したり、5年生が中心になって縦割り班で楽しいゲームを実施したりと、工夫した形で行うことができました。在校生からは、感謝の気持ちを表すプレゼントやビデオメッセージが6年生に向けて贈られました。また、6年生も在校生にプレゼントを贈ったり、代表児童がお礼の言葉を述べたりして交流を図りました。

感謝の言葉の廊下への掲示なども含め、心がとても温かくなる集会活動ができました。特に5年生の活躍は目を見張るものがあり、来年度の最上級生に向けてのよい経験になりました。

在校生全員からのビデオメッセージの一場面。6年生に心から感謝！！



祝卒業おめでとうございます

## ◆未来を担う卒業生のみなさんへ ～節目を生かす～



日本を代表する竹は、雪の重みにも強い風雨にも耐え、他の木々にはない、たくさんの節目をもって空に向かってまっすぐに成長します。わずかな風を竹全体で受け止めるしなやかさとともに、何百キロにも及ぶ力を反り返って跳ね返す力強さをもっている竹です。そのたくましさの秘密は、軽さと強さを併せもつ規則正しい間隔の節目にあるとされています。そのような力をもつ竹は、種から発芽するまでに4年以上もかかり、その間に地下で1年間に7～8メートルもの根を張って地上の竹を支える準備をされると言われます。やがて芽を出した竹は、節目ごとに成長点をもつことで1日に80～100センチメートル成長し、2か月弱で20メートルにもなります。目に見える成長の姿とともに、目には見えない支える力のバランスは、私たち人間の生き方に大きなヒントを与えてくれます。

節をつくり、外からの多くの力を、しなやかに力強く受け止め成長する姿は、みなさんが目標に向かってがんばろうと辛抱強く取り組む姿そのものです。併せて、学んでいく過程で、目に見える行動や成果だけでなく、それらを支える外からは見えない心の葛藤や、意欲とつながっている努力の大切さ、さらに自分を支えてくれる周りへの感謝の心などは、まさに竹の根と考えられます。

まっすぐな心をもって、たくましく育ててほしいと願うのは、親や我々教師だけではなく一歩先を生きてきた人たちも含め、誰もが望む子供の姿です。しかし、現実には、人間関係をはじめさまざまな困難が次々と降りかかることが多い今日です。それだけに、それぞれの成長の節目においてめあてをもって進み、振り返ることが大切になってきます。その積み重ねが、しなやかさと力強さの基となる節を築き、これから出会うであろう様々な困難に打ち勝つ知恵や力の源になるものと考えています。

卒業生のみなさん、中学校へと進むこの節目を大切に、これまでの自分を振り返るとともに、新たな希望や目標をもって前へ進んでいってください。未来を担うみなさんの活躍を楽しみにしています。



## 卒業生による奉仕活動 ～学校がきれいになりました！～

### ■「光れ けやきッズ」～卒業生号発行に寄せて～

今年度は何度かの学級休業があったものの、「ウィズ コロナ」の考え方の下、感染症対策をしながらほぼ計画どおり教育活動を進められた1年間でした。活動が制限された点、行事の工夫を余儀なくされた点もありましたが、子供たちは柔軟に対応し、工夫して学校生活を送ることができました。卒業生につきましても、一人一人が着実に成長していることを学校生活の様々な場面で実感することができた1年でした。保護者の皆様には、数々のご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆様方のお力添えをいただきながら、何とか卒業を迎えることができました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

卒業という別れの寂しさはありますが、子供たちがそれぞれの新しい学び舎でも前向きに学校生活を送り、さらに飛躍することを願いつつ、卒業生号の結びといたします。1年間、ご笑覧いただきありがとうございました。

